

事業報告令和3年度 教育事業 タイニーキャンプ

令和3年7月10日（土）～11日（日）
【対象】小学校1・2年生
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

自然の中での共同生活を通して豊かな感性、自主性、協調性を育む機会とする。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和3年7月10日（土）～11日（日） 一泊二日

(2)参加者 31名

(3)日 程

1日目	2日目
11:00 受付（ロビー）	7:20 朝食
11:30 開会式	9:00 レク
12:00 昼食	10:00 五平餅作り
13:30 自然の中で遊ぼう ～幼児期の運動プログラム～	13:00 閉会式
15:30 うちわ作り	13:30 解散
17:20 夕食	
19:30 絵本読み聞かせ	

3. 企画運営のポイント

- ・事業冒頭で、子どもたちに期間中に達成する目標を立てさせ、プログラムの随所で確認させるよう取り入れる。
- ・『はっけん！おてつだいやってみ隊』を用い、家庭でもお手伝いを実践できるようプログラムに取り入れる。
- ・ボランティアが主導で行うレクの時間を設け、ボランティアの研修及び資質の向上を図る。

4. 参加者の声（保護者アンケート）と活動の様子（抜粋）

- ・連絡を丁寧にくださり、安心して子供を出すことができました。
- ・環境が変わり、学校とは違う友達、下級生とのつながりを持ち、楽しんでこれたようです。これは親にとって子供のことを再認識出来る良い機会となりました。本人、親共に大きい収穫でしたし、この収穫が本人をパワーアップさせ、学校生活も乗り切ってくれてくれることと思います。
- ・家に帰ってきてから「また来年も行きたい、もっと泊まりたい」と言っていました。とても楽しかったようです。参加費用がとてもお安く、ありがたいと思いました。
- ・すごく嬉しそうに話すのをずっと聞いていて、参加させていただき、嬉しいし、本当に良かったと思います。五平餅の作り方を細かく教えてくれました。学校への日記を5ページもかけてたくさん記入していました。片親でなかなか外出させてあげられないこともあり、息子にとって本当に良い思い出になったと、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・タイニーキャンプは子供だけではなく、親にとっても初めてのことが多く、良い経験になりました。コロナもあり、外出がしにくい中での開催でしたが、何事もなく参加できて、良い経験をさせていただきました。
- ・外での活動がとても楽しかったと話してくれました。コロナ禍でも企画、運営していただき、様々な配慮もあったおかげで楽しい時間が過ごせたと思います。

【活動①】 自然の中で遊ぼう ～幼児期の運動プログラム～



【活動②】 うちわ作り



【活動③】 作って食べよう ～長野県の郷土料理 五平餅作り～



5. 成果と課題

(1)保護者アンケート結果 事後アンケート回収25名

タイニーキャンプ全体を通して	満足 : 23名	92%
	やや満足 : 2名	8%
	やや不満 : 0名	0%
	やや不満 : 0名	0%

(2)成果と課題

- 保護者の方とアレルギーや不安なことなどについて事前に細かく連絡を取り、送り出す際の不安軽減に繋がった。
- 活動毎に「がんばりカード」を活用した。自分たちの活動を視覚的にふり返し、「がんばったらシールを貼る」ことで、次の活動への意欲化を図ることができた。
- 担当2人も小学生1・2年生対象の事業は初めてだったが、1・2年生は当初考えていたよりもいろいろなことができると感じた。一方で、次の作業に取り掛かる早さは想像よりもゆっくりだったため、もっと時間にゆとりをもってプログラムを組む必要があった。次年度以降の企画立案の際の参考にしたい。
- 「教育事業の目的」をしっかりとボランティアに伝え、参加者への注意の仕方を統一させるべきだった。